

# 社会政策学会 Newsletter

1997.12.10

No. 15

## 市民公開シンポジウム「ジェンダーで社会政策をひらく」開催

社会政策学会創立100年記念大会の前夜10月31日6時より、佛教大学総合研究所のご協力を得て、佛教大学四条センター（京都市）において公開シンポジウム「ジェンダーで社会政策をひらく」が開催された。これは、学会創立当初に市民向けの講座を開いた故事に因むとともに、市民にも積極的に学会活動を公開していきたいという考えから実施したものです。約150名の参加者を得て議論も盛り上がり、盛会でした。

今後も機会をとらえて市民への情報発信を行っていききたいと思います。シンポジウム実施にあたりご尽力いただいた西村裕通、浜岡政好、藤井透の諸会員に感謝申し上げます。当日の報告者、論題等は以下の通りです（戒能さん以外は会員です）。

「職場のジェンダー問題と社会政策」	小松満貴子（武庫川女子大）
「福祉の視点から」	二宮厚美（神戸大）
「家族法の視点から」	戒能民江（東邦学園短大）
コーディネーター	伊藤セツ（昭和女子大）
	浜岡政好（佛教大）

## 学術会議経済研連シンポに参加決定

日本学術会議は専門分野毎に、研究連絡会を設けています。社会政策学会は経済政策研連に所属していますが、95年度より、経済政策研連では研連シンポジウム「パラダイムの変換と経済社会政策」を複数年にわたる企画として取り上げています。本年はその3回目です。社会政策学会の発案もあって始まった企画です。今年は学術会議の会員の選挙があったため、企画が遅れていましたが、この度ようやく大筋が決まりました。社会政策学会は3年連続で参加することになりました。

このシンポジウムは加盟学会の会員のみが参加できます。毎年5～6学会が報告し、討議を行います。今年度の開催日程、本学会の論題および報告者は以下の通りです。多数の会員のご参加をお願いいたします。

日程 1998年3月30日（開催時間は確定次第お知らせします）

場所 日本学術会議（東京都 区 TEL ）

論題 「ジェンダー視点で経済社会政策を拓く」

報告者 大沢真理（東京大）

コメンテーター 高田一夫（一橋大）

## 第96回大会は日大経済学部で

第95回大会（98年春）は6月6日（土）～7日（日）、日本大学経済学部（東京都千代田区神田）で開催されることになりました。大会委員長は牧野富夫会員です。共通論題はすでにお知らせしたとおり、「日雇労働者・ホームレスと現代日本」です。コーディネーター玉井金五会員の「主旨」説明はニューズレター第14号に掲載済みです。今回、報告者が決定しましたので報告します。コメンテーターは現在、検討中です。

共通論題のテーマ「日雇労働者・ホームレスと現代日本」

- |                      |              |
|----------------------|--------------|
| 1) 課題と方法             | 岩田正美 (東京都立大) |
| 2) 日雇労働者の高齢化と労働市場    | 中山 徹 (大阪府立大) |
| 3) 建設労働と日雇労働者・ホームレス  | 椎名 恒 (北海道大)  |
| 4) ホームレスと生活保護行政      | 吉村臨兵 (釧路公立大) |
| 5) 外国人労働者の流入と日本の不安定層 | 井口 泰 (関西学院大) |
| 6) 欧米の状況との比較         | 都留民子 (広島女子大) |

また、第97回大会は岐阜経済大学(大垣市)で開催される予定です。共通論題など詳細は続報をお待ち下さい。

#### 業績リストの作成方法の変更

97年度の会員業績リストは、97年春の大会時の総会で発表したとおり、年報には収録しません。学会のホームページに発予定です。そのため、インターネットの利用が不便な方で、内容を特にお知りになりたい方は本部までお知らせ下さい。コピーしたものを用意します。

訂正 新入会員 橋本健二 静岡大学教育学部 教育学 木本喜美子、遠藤公嗣

---

発行  
**社会政策学会**  
代表幹事 高田 一夫  
〒186 東京都国立市中2-1  
一橋大学社会学部高田研究室  
電話 & FAX 0425-80-8829

Email [cs00051@srv.cc.hit-u.ac.jp](mailto:cs00051@srv.cc.hit-u.ac.jp)

---